

### クラブ管理運営委員長 黒田真之

クラブ管理運営委員会では、クラブの各委員会に充実した活動ができるよう計画、支援してまいります。また現在コロナ禍の中、非常に厳しい経営環境にあると思います。そんな中でのロータリー活動はどうあるべきかを模索しながら、田中常浩ガバナーのスローガン『ロータリアンの想いを繋ぐ』に沿って進めていきたいと思っております。

会員拡大については重要な課題となりました。昨年度は、会員を純増することは出来ず現状維持に終わってしまい、今年度も会員27名からのスタートとなりました。一人でも多くの会員を増やすよう全員で取り組んで会員30名を目指してまいります。

公共イメージアップとしてホームページの充実、FACEBOOK等のSNSを活用したグローバルな情報発信も推進していきます。

### (1) ロータリー情報・雑誌委員会

委員長 佐々木 紀 仁      副委員長 金 沢 守 昭

- ①委員長が毎月第1週の例会において『ロータリーの友』を解説し、日本国内や世界各地で行われるロータリー活動の取り組みや現状、また掲載された特集記事等をもとにクラブメンバーが知識と情報を共有し、ロータリー活動の理解を深め、ロータリアンとしての資質の向上に努める。
- ②委員長が欠席の場合は副委員長が代行し、例会においてロータリーの友を解説する。

### (2) 公共イメージ・会報・WEB委員会

委員長 柿 本      副委員長 杉 山 克 也

- ①会報は、当クラブは月報として、月報の充実を図ります。
- ②クラブ記録は写真記録を多用し、見る楽しさと情報の正確性に努めます。
- ③会報は欠席会員にも『ロータリーの友』といっしょに配布します。
- ④奉仕プロジェクトなどの事業が開催される情報を広報宣伝します。
- ⑤公共イメージアップのためホームページを作成し、当クラブなどの活動写真を用いて情報を発信します。ホームページ作成から毎月の管理まで業者（会員事業所）に委託していることにより、さらなるレベルアップとともに情報の発信力が高まると確信しています。

### (3) 家族・親睦委員会

委員長 溝 口 奈美子      副委員長 今 泉 成 一

- ①会員相互の親睦を図れるよう毎月1回夜例会を実施する。
- ②年1回おいらせRCと合同夜例会を開催する。そして毎年交互に主管し、交互に訪問交流する。
- ③年2回（上期と下期）市内3クラブ合同例会を開催し、主管クラブをサポートする。
- ④会員同士の仲間づくりを応援し、和気あいあいとした友情あふれる親睦を深め、それが会員拡大と維持につながるよう、楽しみながら活動する。

#### (4) ニコニコBOX・出席委員会

委員長 田 中 健太郎 副委員長 照 井 伸 良

- ①ニコニコ・ロータリー財団・米山などに、会員がすすんで貢献するように意識の啓蒙に努める。
- ②ロータリー財団や米山奨学金などは、地区の目標達成に協力する。

(クラブ目標：ロータリー財団1人180ドル、米山奨学金1人1万円)

そのために前半にロータリー財団と米山奨学金にそれぞれ送金し、12月末でのゼロクラブ解消に協力をしたい。そしてそれらの目標が達成できた段階で、自分たちのクラブのためのニコニコを集めるようにする。

---

## 2. 会員増強委員会

担当理事 白 濱 道 義

会員増強委員長 白 濱 道 義

昨年度は27人で年度を終えました。コロナ禍が収束に向かい、今後は対外活動も再開されてくると予想されます。メンバー全員で積極的に候補者へのお声掛けをし、『30名突破!』を目標に掲げて入会候補者を全会員で探し出し、その情報を共有し、私達と一緒に活動して頂けるよう勧めていきたいと思えます。

そのためにも、会員一人ひとりが楽しく、そしてロータリアンとして魅力的に活動していく事が大切です。そして、入会していただいた新会員にサポートもしっかり行い、会員維持を図ります。会員同士の親睦にも力を入れ、多様な職業分類による魅力的なクラブを目指します。

#### (1) 会員拡大・維持委員会

委員長 古 内 秀 典 副委員長 布 施 久

今年度も『30名突破!』を合言葉に行動をしていきます。そのために全会員に、友人知人の中からロータリアン候補者を推薦して頂きます。そして私達自身が、ロータリアンとしてさらに自分を磨き「新たなメンバーを温かく迎え入れるべき和の心を持ったロータリアン」を目指します。

#### (2) 研修・教育委員会

委員長 高 村 和 雄 副委員長 泉 武 男

- ①入会1～3年目の会員を対象にロータリアンとしての意識の向上のため親睦・研修を行う。
- ②他クラブの通常例会(親睦懇親例会は除く)に参加し、特に入会3年以内の新会員に呼びかけ一緒に訪問するようにしてロータリーへの理解促進を図る。
- ③会員に地区主催の地区大会やセミナー・研修会に積極的に参加するよう呼びかける。
- ④ロータリーの素晴らしさを再認識する事が会員維持に繋がる事だと信じ、地区大会や国際大会に参加するようPRに努める。

#### 奉仕プロジェクト委員長 田 中 幹 志

当部門は職業・社会・国際と非常に幅が広く難しく考えすぎるところがありますが、実は私たちの身近なところに存在しています。職業を通じ職業人として意識して行動している事や、地域の各団体に所属し、また交流している中で役に立っている事など、すでに奉仕活動だと思えます。またロータリアンとしての行動規範「個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する」に沿って、日々ロータリアンとしての自覚を持って活動して欲しいと思えます。

我がクラブは、台湾羅東扶輪社とも姉妹提携をしており、国際交流にも積極的に取り組んでおります。今後もそれらの活動を発展させるよう努めてまいります。

#### (1) 職業奉仕委員会

委員長 欠 畑 茂 治      副委員長 大 竹 正 貴

- ①高校生に対する『とわだ面接セミナー』事業のサポート。(当クラブ主管・地区補助金利用)
- ②例会での各メンバーの職業奉仕の卓話の開催。
- ③講師による卓話を開催。

私達は常に『四つのテスト』を生きる上での心構えとしていかなければならないと思えます。市内の異業種の代表がロータリークラブに集い、お互いに情報交換したり、それによりインスピレーションを受けたりしながら、常に奉仕する心で職業(仕事・人生)に当たりたいと思っています。それがロータリーでいわれている「最もよく奉仕するもの 最も多く報いられる」につながると思えます。

ロータリーライフを大いに楽しみましょう！

#### (2) 社会奉仕委員会

委員長 中野渡 勝 孝      副委員長 鈴 木 陽 大

- ①三本木農業恵拓高校『命の花プロジェクト』継続支援
- ②早朝清掃奉仕の実施(2023年4月:三木野公園)クラブ単独事業
- ③『小さな親切運動十和田支部』継続支援
- ④クラブ内・外部講師による卓話の実施 委員会単独事業

#### (3) 国際奉仕委員会

委員長 工 藤 淳 一      副委員長 芋 田 一 志

- ①姉妹クラブ羅東扶輪社と交流事業(相互交流並びに青少年交流事業)をコロナ禍ではWEBを用いての開催
- ②『END POLIO NOW』への協力
- ③十和田国際交流協会の事業支援

### ロータリー財団委員長 肴 倉 治

ロータリー財団は、国際ロータリーの慈善部門であり、『より良い世界を築こう』というビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付によってのみ支えられています。世界で健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和の達成の為に活動しています。寄付することによって世界中の奉仕活動に参加する意味を深めていきましょう。

- ①財団補助金プロジェクトや活動への参加を呼びかけ、促進する。
- ②できるだけ多くの会員に財団への協力を要請する。
- ③会員一人当たり年次寄付 150 ドル、ポリオプラス 30 ドル以上を奨励する。

### (1) ポリオ委員会

委員長 白 山 春 男 副委員長 鎌 田 秀 幸

ポリオ根絶まで少しの所までできました。ただ、生ワクチンによるポリオ発生がアフリカ中心に広がりを見せています。ただし、野生株が 2023 年に根絶されて 3 年後の 2026 年にポリオ根絶宣言がなされる予定です。ここまでの間は、我が地区の関場 PDG による強いリーダーシップと地区内外の仲間による力強い行動があればこそその成果だと思います。そして、今一度我がクラブも行動を示したいと思います。

### (2) 米山奨学生委員会

委員長 堰野端 展 雄 副委員長 大下内 乙 美

- ①日本との交流の架け橋となるべき奨学生を支援できるよう寄付活動を推進する。
- ②米山奨学会情報や米山奨学生委員長の卓話などにより会員の啓蒙を図る。
- ③米山奨学生に卓話講師をお願いして、米山奨学会の PR をする。
- ④地区米山委員会の寄付目標に協力する。 特別寄付 1 万円 普通寄付 3 千円

---

## 戦略計画委員会

委員長(会長) 竹 島 直 樹

---

委員長 竹 島 直 樹 副委員長 大 竹 正 貴

- ①世界に通用するひとづくり支援事業『夢基金（ドリームファンド）』の推進。
- ②会員に理解・周知を図りながら、十和田東 RC 独自の支援事業を展開できるよう、ルール・運営・広報の確立に向け精査していく。

---

## 会 計

理事・会計 金 沢 守 昭

副会計 柿 本 聡

---

コロナウイルスによる重症化も緩和しつつあり今期は通常に戻るものと予想されますが、世情に対応しつつ臨機応変に運営してまいります。

また地区補助金を活用した「とわだ面接セミナー」を本年も実施する予定です。十和田市内3クラブ合同の事業であり、当クラブ主管ですので予算管理をしっかりとしながら各クラブへの報告等抜かりなく行っていきます。

会計内容につきましては、例会にて逐一報告し透明性を高めていきます。

---

## 会場監督 (SAA)

理事・会場監督 芋 田 一 志

---

①明るくなごやかな当クラブの例会の雰囲気、今後も維持できるように努力していく。

②ビジターやゲストが気軽に当クラブの例会になじめるよう「おもてなし」をしていく。

③例会場でのマナーを守り、スムーズな運営を目指していく。

SAA (Sergeant at Arms) は直訳すると「鬼軍曹」だそうです。英国王室の慣用句で守衛官をいうそうです。秩序を重んじるよう常に心配りをするのが役目で、そのことをしっかりと認識し、努めてまいります。

微力ではありますが精一杯努力する所存ですので、何とぞ、皆様のご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

---

## 青少年交換委員会 (留学生事業がある年度だけ設置)

---

十和田東ロータリークラブ青少年交換プログラムの経過

1984-1985 グレゴリー・C・ブルーム 米国～五戸高校 (受け入れ)

1986-1987 才神祐子 五戸高校～米国 (派遣)

To USA RID7770 (Moncks Corner-Town Moncks Corner RC)

1990-1991 ソル・ブッチャー オーストラリア～十和田工業高校 (受け入れ)

1999-2000 Rine' Anne Billings 米国～十和田工業高校 (受け入れ)

From USA RID5190 (Fallon-City Fallon RC)

2000-2001 三浦由美子 三本木高校～米国 (派遣)

To USA RID5100 (Oregon-City WestLinn RC)

2004-2005 Blake Hayden Denker オーストラリア～十和田工業高校 (受け入れ)

From Australia RID9460 (Cockburn-City Cockburn RC)

2004-2005 川村 望 三本木農業高校～米国&カナダ (派遣)

To USA/CANADA RID5580 (Minnesota, Detroit Lakes RC)

2009-2010 Heidi Elisabeth SALMELA フィンランド～三本木農業高校 (受け入れ)

From Finland RID1410 (Kokemaki-City Kokemaki RC)

2009-2010 菊池つづら 三本木農業高校～フィンランド (派遣)

To Finland RID1430 (Pieksamaki-City Pieksamaki RC)